

米づくり体験学習



【港西学区】

■世帯数：3,683 世帯

■人 口：8,911 人

■面 積：2,291 k²m

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 小学5年生を対象に地域との交流を図るため、地域の田んぼを利用して米づくりの体験学習を実施している。
- ・ 春の田植え、秋の稲刈りともみすり、冬にはもちつきと縄ない・ぞうり作りを体験する。

【住民へのPR方法】

地域ボランティアと小学校の事前会議において決定

【アピールポイント】

米づくり体験学習をはじめて平成 24 年度で 11 年になるが、子どもたちが楽しく学習できている。勉強は思い出としてあまり残らないが、米づくりは忘れることなく、一生の思い出となる。

2 きっかけ、背景

学区内に田んぼが少なくなる中、子どもたちに米づくりの苦労を体験してもらい、物の大切さと人の気持ちや思いやりを身につけてもらう。また地域の大人と触れ合うことにより、非行化を防ぎたいとの思いもある。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、PTA、女性団体・女性会
4回で延べ約 150 人

(2) 運営協力

学区内の農業従事者に米づくりの指導者として協力依頼

4 実施のスケジュール

毎年 4 月 事前会議の開催



5 月 田植え



10 月
・事前会議の開催
・稲刈り
・もみすり（もみがらと米に分ける）



12 月 もちつき



翌年 1 月 縄ない、ぞうり作り

5 成果と課題

(1) 成果・効果

住民間の交流の深まり。子どもたちと地域の交流が深まり、あいさつを交わす事が多くなった。

(2) 苦労した点

活動の担い手が不足。米づくり経験者が高齢のため、指導者の負担が大きい。

(3) 今後の課題・展望

担い手の世代交代が課題。田起こし、種まき、田んぼの水管理、肥料やり、草取り等一連の管理者が少なくなっており、後継者として若い世代の育成が必要。

(4) メッセージ・アドバイス

学校、子ども、地域のふれあいの場を作る事が大切。

